

平成 29 年 1 月 31 日 (月)

第 5 回 図書館ミニ講演会



バーンスタイン指揮によるマーラーの交響曲の映像を見ながらの開始となりました。テーマは『「マーラーを聴く女」とアブシン酸』。松田教頭先生が、20 世紀末から今世紀にかけての数十年で日本社会と文化はどのように変遷したのか、学生時代の体験もまじえてお話してくださいました。

《語られたキーワードおよび人名》

新幹線 マーラー カリカチュア 指揮法 有機化合物 生態生理学 野菜工場 大江健三郎 糸井重里 村上龍 バブル期の大学院生と研究 失業率 マイルス・デイビス 映画『ブレードランナー』 衛星ランドサット 漫画『AKIRA』とニヒリズム エンゲルスと宮沢賢治の都市論 松田聖子 松本隆 プラザ合意とバブル経済 カラヤン バーン

スタイン マーラー「交響曲第 9 番」ウィーン世紀末 クリムト フロイト ホフマンスタール リヒャルト・シュトラウス オペラ『ばらの騎士』 1901 年の未来予想 企業が採用にあたり重視する能力 加藤周一と吉田秀和 小林多喜二 EQ …

図やグラフだけでなく、時に JAZZ やクラシックを流しながら、膨大な量の情報と知識を駆使して、時代の流れを解説してくださいました。

講演の最後には、こんな言葉が送られました。

Think & Feel → Act

「考えて、感じて、一步を踏み出してほしい」



質問コーナーでは、「好きな JAZZ 奏者は？」「マーラーの交響曲で一番好きなのは何番？」といった質問が出されました。ビル・エバンズやハンプトン・ホーズの名前が挙げられ、マーラーでは「4 番と 9 番」という答えて、質問した人と意気投合するという場面も見られました。

【アンケートより】

- ・時代の様子がわかりました。
- ・クラシックや JAZZ など、音楽の変遷についても知りたいと思いました。
- ・むずかしかった。人が少ないかなと思った
- ・深く、様々なひきだしが増えそうな予感がしました。

次回は 2 月 14 日。
数学の小原隆男先生
によるギターのお話
と生演奏です♪